

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・寺社に葬儀を頼まない人が増えてきたので、戒名ではなく、俗名でお別れの会を開催するのが、最近の流れである。
	○	百貨店（店長）	・今が最悪のように思われる。新型コロナウイルスのワクチン接種が若い人たちに進んできているので、今よりは良くなるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大も若干落ち着いて、ワクチンも普及し、条件的には悪くなることはないので、大分回復してくるのではないかと。売上、販売もやや伸びるのではないかと予想している。
	○	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が、国民の70%を超えてくる予定なので、2～3か月先には景気も改善されるのではないかと。
	○	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が終わる頃なので、良くなってくれないと困る。飲食店が危ないと2年も言われ続けてきて、すんなり今までどおりに戻れる気がしない。景気浮揚策等をどんどんやってほしい。新型コロナウイルスが終息した後、元に戻るかどうか勝負だと思う。
	○	遊園地（職員）	・新型コロナウイルス感染対策を徹底し、万全な受入体制を整えるとともに、積極的な集客施策の実施、情報発信を行うことで、多くの客の来園を期待する。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況に左右され、明るい光が見えない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費意欲の冷え込みが、新型コロナウイルス禍のためなのか、意欲をそそるものがないのかは、見えてこない。仕掛けも難しいが、先行きが見えない厳しい状況がある。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、地域の経済活動がなかなか活発化しないため、苦戦するのではないかと。
	□	百貨店（営業担当）	・変わらないと回答したが、いずれにしろ新型コロナウイルスの感染拡大が収まって、ワクチン接種がどうなるかで、将来的な状況は変わってくる。
	□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んではいるが、感染者数は増えてきている。今月下旬に2日間、安全対策をしたコンサートが地元の大型ホールで開催された。当店も最終日に仕事をもらい、売上の的にも助かっている。これからは感染対策をして、コンサートができるようであればうれしい。
	□	スーパー（店長）	・全国的に新型コロナウイルスの感染者は増えてきているが、ワクチン接種済の方も多くいるので、以前よりは全体的に客が動いていくように感じている。
	□	コンビニ（店長）	・大分、皆が今の状況に慣れたようで、特別何かあったり、緊急事態宣言が発出されても、「ああ、そう」という感じで、大きな影響が出ることもなくなっている。天候で変わることがあれば別だが、それがなければ、今後も特に変わらない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・変わるとは思えないほど、冷え込んでいる。
	□	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の解消が見通せない。
	□	一般レストラン（経営者）	・現状がかなり悪化しながら進んでいくとみている。
	□	観光型旅館（経営者）	・緊急事態宣言発出の影響により、現在9月の予約が全く入ってこないため、9月後半が来客数の底だと予想している。9月後半には新型コロナウイルスのワクチン接種がかなり終わり、感染拡大の第5波も落ち着き、10月頃から徐々に回復の動きが出てくるのではないかと。2～3か月後は現状と同等まで回復すると予想する。
□	都市型ホテル（支配人）	・全国に広がる緊急事態宣言発出で、県を越える行動の自粛と自粛疲れ、新型コロナウイルスのワクチン普及による人流増加等のバランス次第で、宿泊予約や利用率が変わってくる。	

□	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進んでも、感染者数が増加傾向にあれば確実に利用客は減少するようになっていく。こうした形で進むと予測すると、この先も大幅な反動は期待できず、現状のまま進むのではないかと。年末年始の予約状況も全く動きがないので、悪いまま変わらないさそうである。
□	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染が全国に広がり、心理的な悪化と景気回復の見通しがつかず、しばらく厳しさが続く。
□	通信会社（社員）	・キャンペーンや大規模広告等で、爆発的に新規加入者が増える材料は今のところない。年末に向けて、4Kテレビが普及すれば、風向きも変わってくる。
□	観光名所（職員）	・当地も新型コロナウイルスの感染が拡大し、従業員が患する等、いよいよ身近に迫ってきた感がある。ワクチン接種は進んでいるものの、このままでは急激に感染拡大を抑えることは難しいのではないかと。
□	ゴルフ場（経営者）	・秋のシーズンインとはいえ、新型コロナウイルス感染拡大のなか、元気なシニア層の来場が減ってきている。ただし、パーティーがない分、自宅用土産の売店売上が増えている。
□	その他サービス [クリーニング]（経営者）	・当社従業員70人の内、2回目の新型コロナウイルスワクチン接種が終わっているのは、1人だけである。この状況では良くならない。政府に頑張ってもらいたい。
□	住宅販売会社（経営者）	・別荘需要は底堅いものの、販売用の中古別荘が減少しつつある。
▲	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の収束がみえず、買物頻度の低下が進行している。
▲	コンビニ（経営者）	・夏も終わり、新型コロナウイルス感染が拡大し、すぐ身近なところまで来ているため、先行きは落ち込んでくるのではないかと。
▲	コンビニ（経営者）	・東京オリンピック・パラリンピックの終了と終息の見えない新型コロナウイルスの影響で、やや悪くなる。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大第5波の影響で、自粛等、外出する機会が減ると思われる。
▲	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響が収まるとは考えにくい。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまで、景気回復は見込めない。
▲	乗用車販売店（経営者）	・自動車販売、整備業を営んでいる。新車の納車はかなり遅れているので、整備の部品にも影響が出ないことを願っている。
▲	自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染警戒レベルが下がるまでは、来客数も伸びず、厳しいのではないかと。
▲	一般レストラン（経営者）	・足並みがそろわず不公平感のある新型コロナウイルスのワクチン接種、休業や時短要請等、世の中の動きが悪くなることばかりである。この先まだしばらくは繰り返されると思う。
▲	旅行代理店（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で大きく変わってくる。秋のトップシーズンを考慮し、感染が減少方向に向かえば、当然ながら景気回復の期待はできるが、現状では回復材料が見当たらない。教育旅行も現在は延期や検討がほとんどで、めどが立たない。このまま経過するならば確実に景気後退となる。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスが終息しなければ、この状態がずっと続くのではないかと。今月も前年比100%を超えようと思ったものの、同95%くらいで終わるような気がする。
▲	ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束次第と考える。
▲	設計事務所（経営者）	・木材、鋼材が不足しており、新規案件が停滞している。
▲	設計事務所（経営者）	・完了物件より依頼数が少ないため、やや悪くなる。
×	商店街（代表者）	・現状からの転換の芽が見えるまでは、どうにもならない。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの問題で、春先よりもますます悪くなっている。客自体、外へ出ることが余りないようで、商店街も閑散としている。新型コロナウイルスが終息しない限り、景気が回復するのはちょっと無理だと思っている。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がかなり厳しい。

	×	その他専門店〔酒〕（店長）	・非常に悲観的に見ている。東京都の新型コロナウイルスの新規感染者数は現状3000人くらいだが、500人に減るのは、ワクチンを打ったとしても、緊急事態宣言期間中に果たして減っているのか。飲食店も酒業界も大打撃を受けている。国内の30%くらいしかアルコールが提供できない状況なので、2～3か月後、反動がきて簡単に良くなるというようには考えていない。
	×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスのせいにしたくないが、やはり影響は大きい。2～3か月前も2～3か月後も同じ状態である。今後についてはまだしばらく分からない。本当に何か良い方法はないか。
	×	都市型ホテル（スタッフ）	・当県全体で、9月まで営業時間短縮要請が延長されるとみている。もし、まん延防止等重点措置地域に指定されれば、各レストランの来客はほぼ見込めない。8月に入って、目先の宴会も30件キャンセルが出ている。また、先の婚礼も、キャンセルにはなっていないものの、人数を縮小しての開催予定となっており、先の見通しが立たない。
	×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除されない限り、良くなるとは考えにくい。そのためには、新型コロナウイルスの感染者数が減少していく必要があるが、日々、感染者が増えており、非常に厳しい状態である。
	×	その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえない間は、仕事が見込めない。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	金属製品製造業（総務担当）	・半導体の需要により、良くなる。
	○	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・どの店も現状を脱するため、営業に力を入れなければならない。新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいることから、秋口は感染状況に関係なく催事を再開させる予定である。
	□	食料品製造業（製造担当）	・現状のまま新型コロナウイルスの感染者数が推移していけば、期待が持てない。
	□	食料品製造業（営業統括）	・秋の新酒関係は、個人消費に若干期待が持てる。ただし、新型コロナウイルス感染拡大の勢いは変わらず、厳しさを増しており、今後も業界には苦境が続くものと考えられる。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・年末に向けた季節商材の受注はあるものの、店頭販売品の受注は予想ができない。引き続きワークショップには期待している。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・半導体不足の影響による受注減少のばん回は見通せない状況である。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・今のところ順調に推移しているが、材料、部品の不足等により、今後の生産に影響が出ることが懸念される。
	□	建設業（経営者）	・受注見込みに変わりはないと思うが、資材の不足や遅延、内部工事の場合は密にできないために少人数で対応する必要があり工期が延長するため、利益が心配である。
	□	金融業（調査担当）	・製造業の改善は続く見通しだが、半導体不足の影響が懸念される。非製造業は新型コロナウイルスの感染再拡大の影響が下押しすると予想され、観光関連を中心に厳しい状況が続く見通しである。
	□	金融業（経営企画担当）	・引き続き、新型コロナウイルスの変異株による感染者数が増加しており、緊急事態宣言対象地域も拡大してきている。外出等を控えることで、経済の停滞が懸念されるものの、ワクチン接種が進むに連れて感染者数が減少してくれば、経済活動も徐々に活発になると考える。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ワクチン接種により一定の効果はみられるものの、完全に感染しないわけではない。まだ新型コロナウイルス発生以前に戻るには程遠い。また、収束に向かっても以前の売上に戻るとは考えにくく、Withコロナの働き方や新たな事業、収入を模索していかなくては生き残れないと感じている。
	▲	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・イベント等の中止により、印刷物がほとんどなくなっている。また、官庁関係からの仕事も少なくなっている。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品全般の流通が悪く、受注に影響してきている。お盆明けから取引先の動きも悪くなり、受注が減っている。棚卸時期が過ぎるまでは安定しないと見込んでいる。
		×	出版・印刷・同関連産業（経営者）
雇用	◎	—	—

関連	○	-	-
(甲信越)	□	民間職業紹介機関（経営者）	・求人をけん引する製造業において、半導体、医療機器、自動車等関連企業の受注は拡大しているが、業種格差が顕著になっている。
	▲	求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況が現状のまま続く限り、景気の先行きは不透明で、回復の見通しは厳しい。
	▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の規模が大きいため、収束にどれだけの期間が掛かるのか分からない。
	×	人材派遣会社（営業担当）	・正社員もボーナス支給がなく、購買意欲が湧くわけがない。生活保護申請の仕方を相談に来る方もいる。
	×	職業安定所（職員）	・東京オリンピックが終了し、その後新型コロナウイルスの感染が急拡大しているため、悪くなる。